学校番号	１０１２

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の地理総合」（帝国書院） 「詳解現代地図　改訂版」（二宮書店）						
副教材等	「高校生の地理総合ノート」（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地図や地理情報システム（GIS）を活用し、日々の暮らしの中にどのように利用されているかを把握する。
・地形や気候の違いから、生活様式や文化がどのように違うかを読み取り考察できる。
・世界各地の生活環境や産業、文化の様子を多面的・多角的に読み取り、現代世界を概観できる。
・災害と地理的環境の関わりについて理解し、防災、減災への取り組みを主体的に考え実行できるようになる。

２　学習の到達目標

・地図や地形図に対しての理解を深め、日常におけるさまざまな場面で地図を利用ができるようになる。その中で、地理情報システム（GIS）などの技術を活用できる能力を身につけ地形の変化や交通網の変遷などを読み取れるようになる。
・世界の諸地域における気候や地形、産業の違いやその成り立ちを捉え、各地域の特色に応じた生活様式や文化について考え理解できるようになる。
・文化や様式の違いから国際社会の在り方を理解し、一人ひとりが主体的に考え行動できる資質を養う。
・日本と世界の地形や気候をもとに自然災害の様相と災害への備えを考え、日常の中における防災や減災の意識を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組みなどを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察・構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図や地理情報システムと現代世界	●地球上の位置と地上の現象 ●経度の違いと時差 ●球体と平面の世界 ●地図の種類 ●地理情報システムの利用 ●現代世界の国家と領域 ●地図から見る国内や国家間の動き ●日本の領域・領土	a: 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて，地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。また、日本の領域や領土問題について正しく理解できる。 b: 各種の地図にはどのような特徴があるのかや，地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について，主体的に追究し，課題を見いだしている。	・定期考査 ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・レポート課題	・ワークシート ・レポート課題 ・グループ活動、口頭発表
	生活文化の多様性と国際理解	●世界の地形と人々の生活 ●世界の気候と人々の生活 ●世界の産業と人々の生活 ●世界の宗教・民族・言語と人々の生活	a: 世界の多様な生活文化が，自然環境や社会環境を背景に，互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。世界の生活文化の多様性の背景となるものや，世界の生活文化の相互関係を見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b: 地形や気候，産業とその発展，歴史，人の移動，他地域との結びつきに着目しながら，世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 世界の多様な生活文化を尊重し，共生を図っていくことについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	・定期考査 ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・レポート課題	・ワークシート ・レポート課題 ・グループ活動、口頭発表

2学期	多様な生活文化と地理的環境	●経済発展による生活文化の変化 ●他地域との結びつきが生活文化に与えてきた影響 ●ヒンドゥー教と生活文化の関わり ●乾燥地域で育まれてきた生活文化の変化 ●植民地支配の歴史と生活文化の変化 ●伝統の継承と生活文化の関わり ●寒冷な気候と生活文化に見られる工夫 ●産業技術の発展と生活文化の関わり ●開発の歴史と生活文化の関わり ●結びつきの変化がもたらす生活文化への影響	a：いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域のうち，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。地域の結びつき，宗教や文化、産業などの様子を体系的に考察する方法などについて理解している。 b：現代世界の諸地域のうち，地域の結びつき，宗教や文化、産業などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：現代世界の諸地域のうち，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・レポート課題	・ワークシート ・レポート課題 ・グループ活動、口頭発表
	地球的課題と国際協力	●人口問題 ●食料問題 ●都市・居住問題 ●感染症・衛生問題 ●資源・エネルギー問題 ●地球環境問題	a：地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを理解している。地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b：地球的課題がどこで，どのように生じているのかや，解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について，主体的に追究し，課題を見いだしている。	・定期考査 ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・レポート課題	・ワークシート ・レポート課題 ・グループ活動、口頭発表

3学期	自然環境と防災	●日本の自然環境 ●地震・津波や火山活動による災害と防災 ●気象災害と防災 ●自然災害への備え	a: 自然災害が生じる場所と要因，日本の自然災害の特徴，生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。自然災害の発生場所や要因，日本の自然災害の特徴，生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b: どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや，日本の自然災害にはどのような特徴があるのか，どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 自然環境には災害と恩恵の両側面があり，人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	・定期考査 ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・レポート課題	・ワークシート ・レポート課題 ・グループ活動、口頭発表
	生活圏の調査と地域の展望	●地理的な調査テーマの設定 ●現地調査の手法 ●調査結果の分析とまとめ	a: 生活圏の調査にあたって，仮説の立て方や調査結果の検証の方法，発表のしかたを理解している。生活圏の調査にあたって，仮説の立て方や調査結果の検証の方法，発表のしかたについての技能を身につけている。 b: 事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや，現地調査の結果をどのように分析・整理するのか，他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 生活圏の調査の結果を地域に還元し，よりよい社会を築いていくことについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	・定期考査 ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・レポート課題	・ワークシート ・レポート課題 ・グループ活動、口頭発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度